

Hotel Lucei
special

*Premium Project Reference
for Hotel & Resorts*

私たちは間接照明のプロフェッショナルです

株式会社 Luci は、2004 年に Luci（ルーチ）ブランドを立ち上げ、
2005 年に空間プロデュース事業から LED 照明事業を独立させました。

空間プロデュースのノウハウを活かし、
直接灯具を見せない「間接照明」という照明の手法を一つの市場として捉え、
豊富な商品展開と、独自のノウハウでお客様のニーズに応えています。

特にホテルの空間においては、
今や「間接照明」はなくてはならない重要なファクターといえます。

眩しさのないやわらかな光でリラックスできる空間に仕上げたり、
光の陰影によって空間に奥行き感を出し、部屋をより広く感じさせることが出来る間接照明。
宿泊客や利用者に高級感・安心感・信頼感を持っていただくために、
ホテルのインテリアデザインのほかに、光の演出も重要です。

本書では、Luci の商品を採用していただいた納入事例をもとに、
設計者の方の、プロジェクトに込められた想いや
Luci の商品を使用した感想などをまとめました。
インタビューを承諾していただきました各方面の皆様、
心よりお礼申し上げます。

デザインコンセプトを感じながら実際に足を運んでみたり、
そのホテルに宿泊してみることもおすすめします。

本書がホテルの空間をより豊かにするご参考になりましたら幸いです。

Index

CASE.1
THE PARK FRONT HOTEL
所在地：大阪府

2

CASE.2
ホテルリズベリオ赤坂
所在地：東京都港区

8

CASE.3
Urban Hotel 京都二条 Premium
所在地：京都府

12

CASE.4
HOTEL BAR GRANTIOS
所在地：東京都品川区

18

CASE.5
ホテル ユニバーサル ポート
所在地：大阪府

26

付録
Luci ショールーム・商品のご案内
原寸サイズ一覧・推奨設置寸法

29



Hotel Luci

ホテルルーチ CASE.1

THE PARK FRONT HOTEL

所在地：大阪府

設計：清水建設株式会社関西事業本部一級建築士事務所

インテリアデザイン：株式会社ヤズデザインインターナショナル

施工：清水建設株式会社 大阪支店

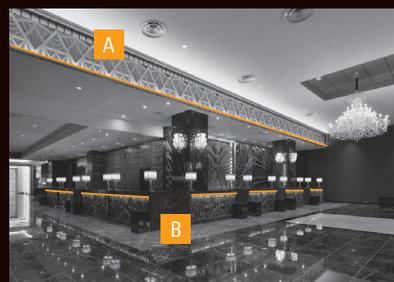
写真：近藤泰岳寫真事務所

建築条件を魅力へと転化する エントランスロビーの間接照明

エントランスロビーの大空間をデザインする上で避けて通れないのが、躯体を構成する柱と梁の処理。ここでは、柱に大理石の化粧とゴージャスなブラケットによる華やかな光を与えることで空間のリズム感をつくりだすとともに、宿泊者の視線と動線を受け止める梁の側面にゴールドのアールデコ調デザインを施し、そこに『ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ』による間接照明を仕込むことで、まるで神殿のような威風堂々とした佇まいを創出することに成功している。

フロントの視認性を高める カウンター下の什器間接照明

フロントカウンター下部にはトランス不要の『ルーチ・パワーフレックス 100V CF』による間接照明を仕込み、フロントの視認性を高めるとともに、梁と呼応しながら水平ラインの光を強調する照明計画が施された。



A ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ
型番 LFP20-T**・L30-CL-I
電球色 3000K 579 lm/m

B ルーチ・パワーフレックス 100V CF
型番 LFPCF25-**-100-L30-CL-I
電球色 3000K 528 lm/m



セントラルパークの木漏れ日を表現する葉陰からの間接照明

エントランスロビーの正面左手は、ニューヨークの「セントラルパーク」をイメージしたロビースペース。直線的にデフォルメされた木々が連なり、葉陰からは木漏れ日が降り注ぐ。

この木漏れ日を効果的に表現するために採用されたのは、トランス不要の『ルーチ・パワーフレックス 100V CF』。長さ 250mm の灯具が 62 本用意され、ランダムに葉の裏側に仕込まれることで、都会の喧噪の中での人々の憩いの場の雰囲気創出されている。



C ルーチ・パワーフレックス 100V CF
型番 LFPCF25-0232-100-L30-CL-I
電球色 3000K 528 lm/m





JFK空港の滑走路を表現した やわらかな折り上げ天井照明

エントランスロビーからエレベーターホールを挟んで「ニューヨークサイド」と名付けられた駅側のエントランスへと至る長さ約25mの共用廊下のデザインは、ニューヨークのJFK空港の滑走路をイメージしたもの。

廊下の先には、ニューヨークの夜景を描いたモザイクタイル・アートが設えられ、夜空を表現したブルー塗装の折り上げ天井には、『ルーチ・コネクティッドライト 100V』からのやわらかな間接照明によって、夜空に瞬く月や星たちを淡く浮かび上がらせる。

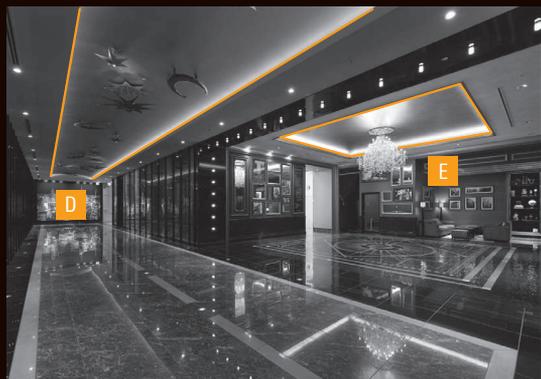
長さ約23mもの長尺を途切れのない1本の美しい光で表現したこの間接照明は、接続簡易性にすぐれた『ルーチ・コネクティッドライト 100V』ならではのものとなった。

中規模空間をやわらかく照らし上げる 折り上げ天井の間接照明

大空間のエントランスロビーと“時間旅行の入口”となる狭小なエレベーターホールをつなぐ動線は、貴族のリビングを思わせるようなカンファタブルな中空間。

深い赤の壁紙が印象的な壁面には額に入った絵が飾られ、『ルーチ・コネクティッドライト 100V』による落ち着いた間接照明が設えられた折り上げ天井には、クラシカルなシャンデリアが華やぎを醸し出す。

大中小の空間の効果的な組み合わせ、デザインシーンのギャップが生み出す驚きと期待、光の強弱による空間の質の表現など、絶妙なバランスの空間構成が非日常的体験をさらに増幅させる。



D ルーチ・コネクティッドライト 100V (販売終了品)

型番 LCL- *-100-W-DF-I

白色 1123 lm/m

E ルーチ・コネクティッドライト 100V (販売終了品)

型番 LCL- *-100-L30-DF-I

電球色 3000K 947 lm/m



光により“時間旅行の入口”を表現したフロント階

エレベーターホールのライン照明

“時間旅行の入口”として位置づけられたエレベーターホールは、壁と天井に埋め込まれた見せるライン照明『ルーチ・シルクス®K』を主役とする光の空間。

幅わずか12mmの極細の光のラインが縦横に走るこの空間は、反射率の高い石の床面とステンレスミラー製のエレベーター三方枠によってさまざまな映り込みを発生させ、どこまでが本物の光でどこからが虚像の光かわからない摩訶不思議な近未来的空間が具現化されている。



F ルーチ・シルクス®K
型番 LSXK-※-N-DF-I
昼白色 620 lm/m

THE PARK FRONT HOTEL



制約を魅力へと転換する ラグジュアリースイートの 足下面発光照明

このホテルのフラッグシップとなる最高級スイート「ザ・パーク・フロントルーム」では、周囲の景観を一望できる窓際にバスルーム（ビューバス）を設置。夜景を独占しながら贅沢なリラックスタイムを過ごすことができる。

しかし、配管を通すためにどうしてもできてしまう床面のギャップを、デザインの力によって空間の魅力へと転化させるために、『ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ』が仕込まれた面発光照明を段差部分に設置。ベッドルームからリビングルーム、そしてビューバスへと段階的に床面を上げていくことで、ビューバスへの自然な誘引を図るとともに、部屋のアクセントにもなる美しい面発光照明によって段差の存在をさりげなく注意喚起することで、デザイン性と安全性が両立するスペシャルな空間が姿を現すこととなった。

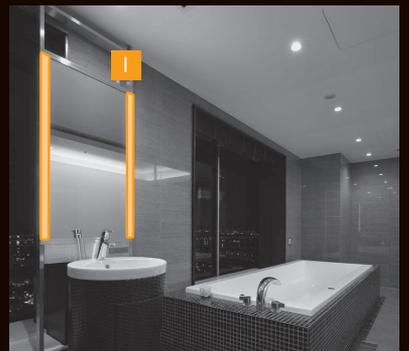


H ルーチ・パワーフレックス 100V CF
型番 LFPCF25-＊-100-L27-CL-1
電球色 2700K 480 lm/m



空間の質を高める バスルーム洗面スペースの ミラー照明

この「ザ・パーク・フロントルーム」のビューバスの隣に設えられた洗面スペースのミラー横には、極細 LED テープ式ライト『ルーチ・フラットフレックス F 特注品（防滴仕様）』が内照式ライン照明として仕込まれた。左右両側から光を当てることで、顔に影を作らず明るく照らす実用性も兼ね備えた、鏡面とフラットで意匠性の高いこの照明計画が、高級感の演出に一役を買った。



I ルーチ・フラットフレックス F 特注品（防滴仕様）
型番 LFTF10-T** - L30-CL-0
電球色 3000K 300 lm/m

オブジェの存在を引き立たせる

什器バックのライン照明

また、このスイートルームには、ダイニングスペースに設けられた棚什器の奥に見せるライン照明『ルーチ・シルクス® K』を設置。アクリルカバーと一体化され、それ自体が極細の面発光となるため光源が直接目に入ってもまぶしさを感じることはないこの器具の採用により、暗くなりがちな棚什器内においても、グラスやオブジェなどそこに置かれたモノの存在を引き立たせるバックグラウンド照明が実現されている。



J ルーチ・シルクス® K
型番 LSXK- * -L27-DF-1
電球色 2700K 554 lm/m



巨大ルーレットを なめらかな曲線で照らし上げる 車寄せロビーの折り上げ天井照明

車寄せ階のエントランスロビーのデザインテーマは、ラスベガス。ルーレットが造作された折り上げ天井には、その外周に沿った円形の間接照明が設えられ、その存在感を高めている。

採用された器具は、水平方向の曲げに自在に対応する『ルーチ・パワーフレックス アルファ』。ここでもその特性を存分に発揮し、直径 3200mm のアールに沿ったなめらかな美しい光を具現化している。



K ルーチ・パワーフレックス アルファ
型番 LFPA20-0960-L27-CL-1
電球色 2700K 540 lm/m



Hote Luci

ホテルーチ CASE.2

ホテルリズベリオ赤坂

所在地：東京都港区

設計：三浦慎建築設計室

内装デザイン：株式会社関家具 野田賢司

照明設計：株式会社関家具 野田賢司

施工：新日本建築株式会社

写真：株式会社関家具 野田賢司

東京・赤坂に位置する新感覚のビジネスホテル。唯一無二の宿泊施設をコンセプトに、16㎡のコンパクトなセミダブルを中心に64㎡のスイートまで5タイプ全71室を、気鋭の芸術家たちが手がけたインスタレーションによるオリジナルアートと無垢材、煉瓦、石などの自然素材をふんだんに用いたインテリアが彩る。このデザインコンセプトは、フロントや共用部にも踏襲され、欧米を代表する各都市に引けを取らない東京の新しい顔のひとつとなることが目指されている。

これらインスタレーションと素材のテクスチャを美しく照らし上げるのは、ときには暗すぎると思われるほどの低照度の中で、明暗のグラデーションによる印象効果が最大限に発揮された間接照明。タスクライトとのバランスを取りながら、空間のオリジナリティを効果的に増幅する照明計画が施されている。

途切れない美しい光で視線を誘導する スイートルームの足下間接照明

旗竿地という特殊な土地形状を活かすために、前面に縦に細長いカフェレストラン、奥に宿泊棟という配置計画がなされたこのホテル。カフェレストランの2階部分には、その細長い形状をフル活用した広さ64㎡のスイートルームが設えられた。

宿泊棟側から扉を開けると、まずリビングルーム。そこからギャラリースペースを抜けてベッドルーム、そして最奥のバスルームへと続く構成。このギャラリースペースとベッドルームをあわせた長さ約10mもの壁面の足下部分には、『ルーチ・シルクス®ワイドK』による柔らかに光が拡散する間接照明が仕込まれ、途切れない美しい光のラインによって機能の異なる空間の連続性を図るとともに、宿泊者をベッドルームへと自然に誘導する照明計画が施された。

1本の途切れない光で奥行き感・ 水平感を強調するヘッドボード上の ライン照明

一方、ベッドルームの反対側壁面には、長さ6mにわたるヘッドボード上部に、見せるライン照明『ルーチ・シルクス®K』を配置。素子の存在を感じさせることのない1本の途切れないライン照明が部屋内のアクセントとなるとともに壁面をやわらかなグラデーションで照らし出し、ギャラリースペースから続く足下照明の光の帯と相まって、奥行き感を強調した照明計画が施されている。

客室内照明の色温度は、『ルーチ・シルクス®K』『ルーチ・シルクス®ワイドK』、ダウンライトともに温かみを感じさせる電球色2400Kで統一されている。



A ルーチ・シルクス® ワイド K
型番 LSXWK- * - L24- DF-1
電球色 2400K 673 lm/m

B ルーチ・シルクス® K
型番 LSXK- * - L24- DF-1
電球色 2400K 515 lm/m



ホテルリズベリオ赤坂



光の帯の存在によって視認性を高める
1階ロビー、カウンター下の足下照明

1階フロントロビーも客室内と同じく、石、煉瓦、天然木といった自然素材のテクスチャの魅力を感じさせる間接照明主体の照明計画。12時間後の天気を照明の色で表現するシステムやエタノール暖炉をはじめとする明かりの演出、世界地図をあしらったフロントカウンター奥の大壁面インスタレーションなど、客室コンセプトをそのまま抽出した空間が広がる。

フロントカウンター足下には、スイートルームと同じくやわらかな光が拡散するライン照明『ルーチ・シルクス®ワイド K』が設えられ、その光の存在によってカウンターの視認性・誘導性を高める効果が狙われている。



C ルーチ・シルクス®ワイド K
型番 LSXWK- *- L24-DF-1
電球色 2400K 673 lm/m



ホテルリズベリオ赤坂

設計

家具の産地として知られる九州の大川のど真ん中で、家具メーカーのコントラクト部門に勤務する僕にとって、今回の仕事は、初めてとなるホテル設計どころか、全体を通してインテリアデザインを手がける最初の仕事でした。

出張族である僕にとって、ホテルのあり方は以前からとても興味深いテーマでした。さまざまなホテルに泊まる度に、どうして面白いホテルはないんだろうと常々感じていました。そうした話のある展示会でお客様に話していたら、「それならちょうどホテル開発の案件があるので設計をやってみないか」と誘われたのがきっかけです。それなら「僕が泊まりたくなるホテル」をつくってみようと思いつき設計に取り組みました。

僕が大事にしたかったのは、ホテルの“肌触り”。いまのホテルはどのホテルでも、色使いや素材使い、家具に至るまですべて同じ。“肌触り”がまったく同じなんです。そこで天然木のテクスチャを活かしたやさしい部屋や、鉄や石といった無骨な素材の質感を感じられる部屋などいくつかのタイプの部屋を、オリジナルの家具や什器と合わせて表現してみようと思ったのです。家具までつくるとなるととてもコストがかかりますが、そこは家具メーカーの強み。コスト監理も含めてデザインだと考え、定番の家具も織り交ぜながら8割

を新たにデザインしました。

また、全室にアートを入れています。額に入った絵ではなく、それぞれその部屋に合わせて違ったアーティストに、直接壁に描いてもらったラインスタレーション的なオブジェをつくってもらったりして、その部屋でしか体験できない唯一無二の“肌触り”を埋め込んでいこうと考えたのです。アーティストのテイストはバラバラ。知り合いもいるし初対面のものもある。これは、それなりにファンがついているアーティストをたくさん集めたら、作品を目当てに泊まりに来る人もいだろうと考えたから。インテリア工事が終わってからの制作ということで、オープン前の一週間くらいは徹夜で一気に仕上げることになりましたが、とても楽しい体験となりました。

1階フロントロビーの照明は、メイン素材として使った黒煉瓦の存在感を引き立たせるために暖色系の色温度の間接照明を中心に、明るすぎず落ち着いた雰囲気になるように心がけました。フロントのカウンターバックにもアートを入れて、煙突を入れなくてもいいエタノールを燃やす暖炉をあわせて設えることで、共用部にも“肌触り”感を取り入れています。

また、スタンダードタイプの客室内は、ベッドルーム内の照明をアートを照らし出すダウンライト2灯だけに止め、客室全体の地明かりはガラス貼りのバスルームからの光で採るという特殊な

照明計画を施しました。保健所を通すときに暗いと言われるかなと不安になるくらいギリギリに照度を押さえて落ち着き感の創出に努めました。ただし、1室だけあるスイートルームだけは考え方を少し変えています。ドアから部屋までの通路が6m、部屋を入れると10mもの長い壁面を持つこの部屋には、その廊下の直線の端から端までLuciの『シルクス』によるライン照明を入れて、その長さを強調すると共に廊下壁面の長大なギャラリースペースをやわらかく照らす演出照明としての役割を持たせています。

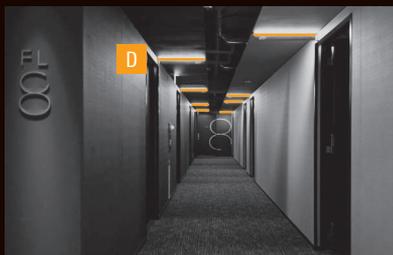
何もかも初めての体験ということでさまざまな苦労がありましたが、とくに照明計画においては勉強不足を痛感させられました。しかしながらそれを逆に言えば、素人ならではの型にはまることのないアイデアを随所に散りばめられたことで、他のどこにもないホテル空間をつくれたのではないかとも思っています。今回の経験を基にさまざまな勉強を重ねて、自分の思い通りの空間をつくることのできる精度の高いスキルを身につけていきたいと思っています。

株式会社関家具
スペースデザイン事業部
ゼネラルマネージャー
野田 賢司

機能性と演出性を両立する

各階共用廊下の天井ライン照明

必要最低限の照度で照らされた各階の共用廊下には、客室ドアと垂直に張り出したルームプレート上部に、見せるライン照明『ルーチ・シルクス® K』を設置。そこから落とされた光によって目指す客室ナンバーへの視認性を高めるとともに、全体の照度をとることが意図された。アクリルカバーを介したやわらかな光が、シックで落ち着いた空間にリズムと華やぎを与えている。



D ルーチ・シルクス® K
型番 LSXK- * - L24- DF-1
電球色 2400K 515 lm/m





Hotel Luci

ホテルーチ CASE.3

Urban Hotel 京都二条 Premium

所在地：京都府

設計：アーキネット京都 1 級建築士事務所

ビュッフェカウンター：株式会社ブルーモーメントデザインアソシエイツ

施工：松井建設株式会社

京都・二条の堀川通り沿いに建つビジネスホテル。“地域に開かれたホテル”を基本コンセプトに、朝食会場となるカフェスペースを通り沿いに配し、昼夜を問わず宿泊客や地域の人々と賑わう風景の創出が試みられた。

1階フロアは、一般に開放されたガラス張りのカフェスペースを前面に、フロントスペースを奥に配置した構成。カフェを訪れる客は通りから直接、ホテルの宿泊客は横手に用意された京都の“路地”をモチーフとした石畳の専用アプローチからアクセスできる動線計画が施されている。

また、画一的な材料から脱却し、和紙、金箔、陶器タイル、左官壁など、地元ならではの素材や施工技術を使用した仕上げを要所に用いることで、“京都らしさ”を感じられるインテリアデザインを実施。それらポイントの表情を、間接照明やライン照明をはじめとするさまざまな明かりによって際立たせた、メリハリのある照明計画が設えられた。

カフェの円盤照明

通りを行き交う人々の目を惹くのが、良質な空間の存在をアピールするアイコンとして、カフェスペース天井に設えられた直径2700mmの円盤照明。

壁を設けることなくひとつつながりの空間として設計された奥のフロントスペースへの抜け感を感じさせること。単なる天井照明としてではなくアイコンとしての存在感を強調すること。このふたつの理由から、この円盤照明は高さ3000mmというホテルとしては決して高くない階高にも関わらず、天井面から300mm突出する折り下げ照明としてデザインされた。

この円盤照明に仕込まれたのは、天井に円形の光影を映し出すアッパー間接照明と円外周のアールを下方に向けて際立たせる間接照明の2種類。前者には、きれいな円形の光影を生み出すために不可欠な水平方向の曲げに柔軟に対応する『ルーチ・パワーフレックス アルファ』、後者には、昼間でも自然光に負けないパワーを出力する『ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ』が採用されている。

この2種の間接照明は、上部アッパー照明においては天井との距離やアゴの高さ、下部仕込み照明においては隙間の幅、光源の取付位置・方向などが、わずか数ミリ違うだけで光の伸び方や質がまったく異なるものとなる。そのため、意図した効果を得るために、器具の選定はもちろんその寸法設定において、モックアップの製作、現場での検証など、Luciとの協同の中で段階ごとに細かなチェックが繰り返された。

1階カフェオープンカウンター 上部の間接照明

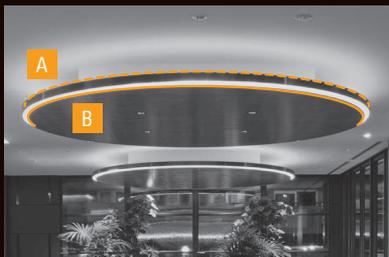
カフェスペース正面右手のビュッフェカウンター上部には、折り下げ天井の外側側面をやわらかく照らし出す『ルーチ・シルクス® ワイド K』による直線状の間接照明が設えられた。連続する2つの円盤照明がつくり出すリズム感と側面照明が生み出す直進性により、空間全体に奥行き感と方向性を与えている。



写真：Space Clip 岡田大二郎



写真：松井建設株式会社 梅谷直司



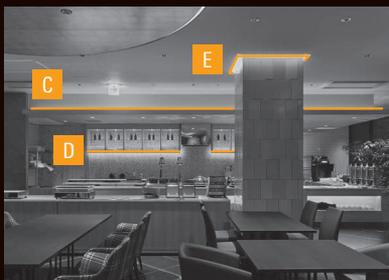
A ルーチ・パワーフレックス アルファ
 型番 LFPA20-0960-L27-CL-I
 電球色 2700K 540 lm/m

B ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ
 型番 LFP20-T** -L27-CL-I
 電球色 2700K 563 lm/m

1 階柱まわりの折り上げ天井

空間内に露出する4本の躯体柱のうち、フロントスペースの落ち着いたデザインに取り込まれた1本だけを除き、カフェスペース内に建つ3本に、「信楽焼」のタイルを仕上げ材として使用。柱上部の天井を折り上げて、『ルーチ・トフ[®]』による間接照明が設えられた。

表面のざっくりとした凹凸が特徴の「信楽焼」ではあるが、ここではあえてその表情を強調するのではなく、カフェスペースの明るく現代的なデザインテイストとあわせてあっさり見える照明計画を念頭に、アクリルカバーの必要性、取付位置、懐寸法などが細かく検討された。



C ルーチ・シルクス[®] ワイド K
 型番 LSXWK- *-L27-DF-I
 電球色 2700K 725 lm/m

D ルーチ・シルクス[®] K
 型番 LSXK- *-L27-DF-I
 電球色 2700K 554 lm/m

E ルーチ・トフ[®]
 型番 LTH- *-NL27-DF-I
 調色・調光可能 電球色 2700K 時 1096 lm/m



写真：K's Photo Works 野口兼史

落ち着いた表情を醸し出すフロント 折り上げ天井内の間接照明

カフェスペースとの一体空間でありながらも、空間の質を変えることでの緩やかな距離感の創出によって、異なる機能を持つ空間を共存させることが試みられたフロントスペースには、カフェスペースの折り下げの円盤照明とは一転して、折り上げ天井への間接照明が設えられた。

調色・調光が可能なライン照明『ルーチ・トフ[®]』が仕込まれた250mmの懐を持つこの折り上げ天井には引き込みにもアールがつけられ、やわらかな光が空間全体を包み込む、ホテルのフロントにふさわしい格調高い落ち着いた空間が設えられることとなった。

1階フロントカウンター上の アッパー間接照明

フロントカウンター上の折り下げ天井には、300mm張り出した黒ラメ調の化粧フィルム貼りのアゴの上部に置かれた『ルーチ・トフ[®]』による間接照明が設えられた。このアゴを境として、そこからのアッパー照明により鮮やかに浮かび上がる白色の側面と天井面、暗く沈むカウンターまわりの対比を出現させ、光の演出による豊かなコントラストの創造に成功している。

1階カウンターバックの間接照明

地元の土を使った日本を代表する左官技「聚楽壁」をあしらったカウンターバックの壁面を照らしあげるのには、調色・調光が可能な『ルーチ・トフ[®]』。

宿泊客にホテルのアイデンティティを印象づけるメインのポイントであり、なおかつ通りからカフェを通しての視線の行き止まりとなるもっとも重要な場所に位置するこの壁を、白と黒のコントラストの中に鮮やかに浮かび上がらせることは、今回のプロジェクトにおける照明計画の核として位置づけられるものとなった。



写真：K's Photo Works 野口兼史



- F** ルーチ・トフ[®]
型番 LTH-＊-NL27-DF-I
調色・調光可能 電球色 2700K 時 1096 lm/m
- G** ルーチ・コネクティッドライト 100V (販売終了品)
型番 LCL-＊-100-L27-DF-I
電球色 2700K 976 lm/m

1階フロントカウンター下の 面発光照明

カウンター上の間接照明と呼応するかのよう、鮮やかな光の帯を具現化しているのが、カウンター下の高さ90mmの面発光照明。什器の中で電源スペースをとることが難しかったため、100V直結可能な『ルーチ・コネクティッドライト 100V スクエア』を採用。周辺の照明とのバランスを取るため、前面にアクリルカバーを被せ、さらに内部はアールをつけて光源からの光を三方に分散させ、存在感のある均一でムラのない柔らかな面発光を具現化している。

1 階通路の長尺ライン照明

堀川通りに面してメインエントランスを構えるこのホテルは、一方で裏側の山陰本線高架下遊歩道に面したサブエントランスも持っている。サブエントランスからフロントスペースまでの動線の片側には、宴会場や会議室として使える多目的ルームや喫煙室、化粧室などのファシリティが用意されている。

15mもの長さを持つこの内部通路の壁面には、フロントスペースのデザインテイストと共通する木調アルミルーバーが採用され、その上部には『ルーチ・トフ[®]』による途切れない直線状の間接照明が施され、光による方向性の創出によってフロントスペースへの自然な誘因効果が狙われている。

サーカディアンリズムを取り入れた調色・調光システムの導入

1階におけるこれら照明計画で特筆すべきことは、人間の生体リズムにあわせて色温度を変えることで快適性を創出する“サーカディアンリズム”を照明計画に可能な限り取り入れたこと。フロントスペース、柱まわり、通路など、空間のベース照明として機能する間接照明を担当する器具に、調色・調光可能な『ルーチ・トフ[®]』を採用したのもそのためだ。

2700Kを基本に、朝は3500K、夜は2400Kと、調光とあわせて調色設定もプリインストールされた複数のシーン設定を用意することで、時間体ごとに変化する街の表情、人々の状態の変化などと連動した有機的な照明計画が具現化されることとなった。

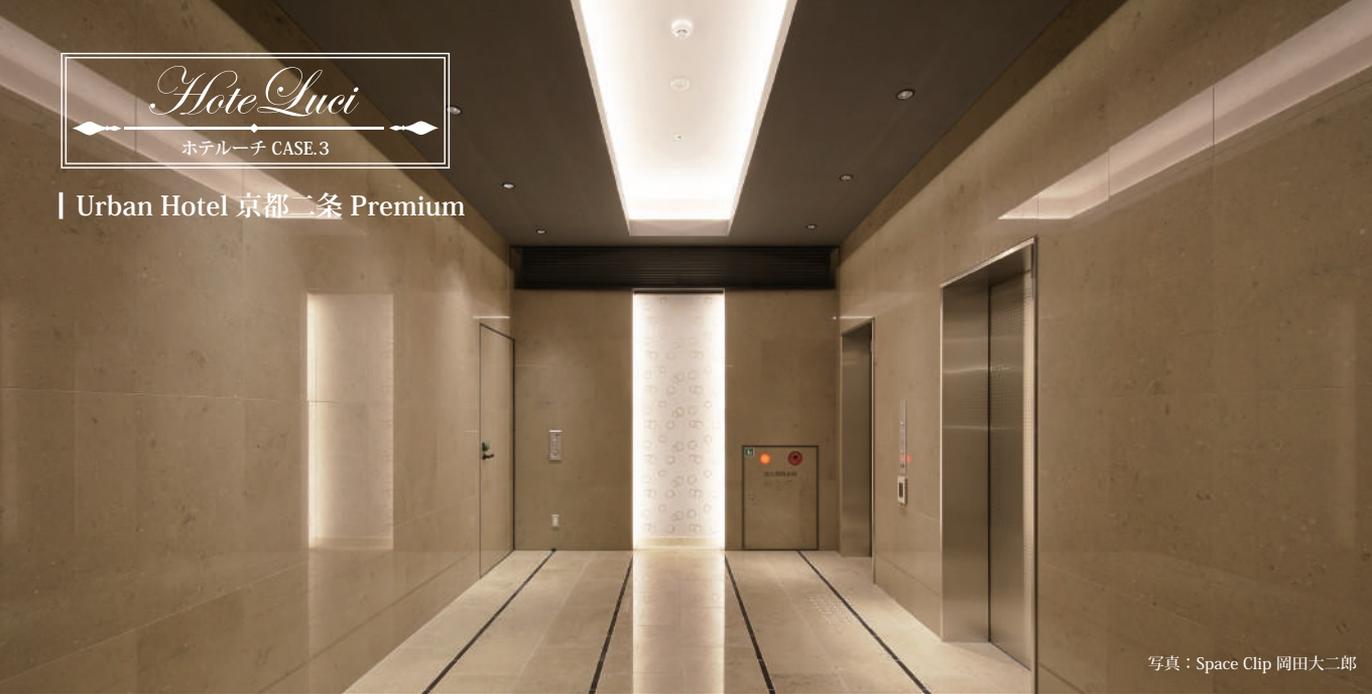


写真：松井建設株式会社 梅谷直司



F ルーチ・トフ[®]
型番 LTH-※-NL27-DF-I
調色・調光可能 電球色 2700K 時 1096 lm/m

G ルーチ・コネクティッドライト 100V (販売終了品)
型番 LCL-※-100-L27-DF-I
電球色 2700K 976 lm/m



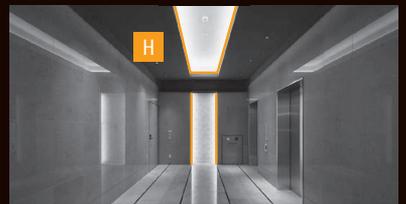
写真：Space Clip 岡田大二郎

1階エレベーターホールの 折り上げ天井と壁面照明

宿泊階への玄関口となる1階エレベーターホールにも、フロントスペースと同様に折り上げ天井による間接照明が設えられた。ただし、フロントのやわらかな光とは異なり、同じ間接照明でも光の強さを強調し、直線的な光の印象を持つ仕上がりになっている。さらに、天井の懐内も、フロントスペースの白色ではなく、京都の伝統色である薄紫色の塗装が施されている。

これは、フロントスペースと光の質を変えて空間に変化をつけるため。そのテイストの違いをさらに増幅させるために、同じエレベーターホール内に設けられた「京唐紙」をあしらったアクセント壁を袖から照らす間接照明も同様の仕様で設えられることとなった。

ここで用いられた器具は『ルーチ・トフ®』。空間の質に差異をつけながらも全体の統一感・連続感を損なわないために、光がやわらかく拡散するこの器具が検討の末、採用されることとなった。



H ルーチ・トフ®
型番 LTH- *- NL27- DF-1
調色・調光可能 電球色 2700K 時 1096 lm/m



写真：Space Clip 岡田大二郎



写真：Space Clip 岡田大二郎

基準階エレベーターホールの壁面照明

基準階エレベーターホールの壁面には、階によって色味が違うメイドインジャパンの和紙が仕上げ材として用いられ、そのテクスチャが天井に設えられた間接照明によって照らされている。

採用された器具は『ルーチ・シルクス® ワイド K』。きめ細やかな和紙の表情を可能な限り感じられるよう、ドットレスで均一な光を照射できることが、その選定理由。途切れない光が、日本の伝統芸を美しいグラデーションで照らし出す。



J ルーチ・シルクス® ワイド K
型番 LSXWK- *- L30- DF-1
電球色 3000K 759 lm/m

7階(大浴場)エレベーターホールの 折り上げ天井照明

大浴場がある最上階7階のエレベーターホールは、特殊階として基準階との差別化を図るために折り上げ天井に『ルーチ・パワーフレックス 特注品 30mm ピッチ』による間接照明が設えられた。正面の壁面には、基準階と同じく和紙が仕上げ材として用いられているが、スポットライトによる照明により、その見え方を大きく変えている。同じ素材でも光の当て方によってその表情がさまざまに変化する好例だと言えるだろう。

Urban Hotel 京都二条 Premium

設計

私たちがこのホテルを設計するにあたってテーマとしたことは、“地域に開く”ということでした。いまのビジネスホテルは、宿泊者だけのものとしての側面が強調されすぎています。地域に開くどころか逆に地域と途切れている場合の方が多かったりもする。もっと地域に愛されるようなホテルが出てきた方が面白いのではないか、というのがその出発点です。

たとえば、いまのビジネスホテルの運営形態では朝食を提供する場所を設けることが義務づけられている。しかしそのスペースは、昼間や夜間は死んでしまっていることが多い。それならば、厳しい建築条件の中でせきかく捻出したその貴重なスペースをフル回転できた方がよいのではないかと考えたわけです。そこで、朝食会場をビジネスホテルとはある程度の距離を置いた独立したカフェテリアと捉え、それを建築の顔ともなるオープンスペースとして1階正面に設えることで、地域の人たちとホテルとをつなぐプランを提案することにしました。

また、コストが何よりも優先されるビジネスホテルでは、日本全国どこにいても同じと言ってもいいほど、似通った素材、似通った色しか使われていない。地域色がまったく感じられないんですね。しかし、宿泊者は、たとえば京都に来たら京都らしさをホテルでも感じたいと思っているはず。そこで、ここでは、地元で採れる聚楽土を使用した左官壁をはじめ、手漉きの和紙、信楽焼のタイル、金箔など、京都周辺ならではの素材を要所所に採用したほか、京都の伝統色を意識した色使いを施すことにしました。地元ならではの素材を使った空間づくりを通して、“地域に開く”ということを表現しようと考えたのです。

限られたコストの中で高価な素材を使っている空間づくりにも、京都らしさの応用は大きく役立っています。それは光のつくりかた、“陰影礼賛”という考え方です。地元の材料を要所に散りばめる贅沢をする代わりに、他の場所はすべて同じ素材を使いコストを抑えていく。空間の変化をつけていくのは照明だけで行うことを最初から決めて、見せたいところは明るく照らし、見せたくないところは影にするという照明計画です。この考え方を採用することで、地元の材料が印象的に心に残る、京都ならではの新しいビジネスホテル像を創出できたと思っています。

このホテルでは、間接照明を中心に随所で Luci 商品を採用しているわけですが、中でももっとも Luci に助けられたのが、カフェテリアのアイコンとして天井に設えた大きな円盤形の造作照明です。通常のホテルの閉ざされた空間とは違い、外光がふんだんに入るオープンな場所に設置しているため、アール全体を美しく光らせることはもちろん、昼間でも表通りからその存在が認識されるパワーが求められるという難しい条件に合致する器具は、『ルーチ・パワーフレックス アルファ』しかありませんでした。さらに、開口部の隙間が1cm違っても光の伸びがぜんぜん違って見えるこの造作照明の制作にあたって、専門的なアドバイスはもちろん、モックアップの作成、現場での検証など、数々の労力を厭わずに行ってくれた Luci 担当者のフットワークの軽さにも大変感謝しています。

今回のプロジェクトは、私にとって照明をはじめ、材料や仕上げ方法など、ディテールに対する理解を一層深めるともよい機会となりました。これからも、メーカー担当者、技術担当者、職人の方々との濃密なコミュニケーションの中から、地域に機能する建築を生み出し続けていこうと思っています。

株式会社アーキネット京都 1級建築士事務所
青坂 沙代

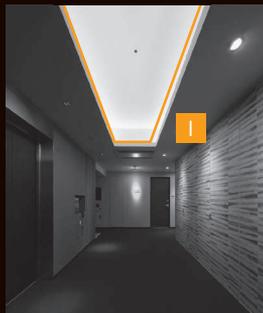


写真：Space Clip 岡田大二郎

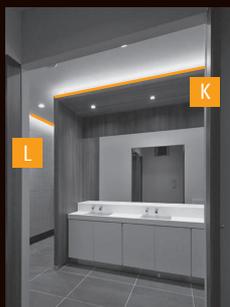
1階女子化粧室の洗面エリアとアクセント壁の間接照明

1階共用廊下の中程に設けられた化粧室も、フロントスペース、カフェスペースのデザインテイストを引き込んだ間接照明が設えられている。

洗面スペースの上部には、空間全体を照らし出すパワーに優れた『ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ』、その奥のトイレスペースへと誘うアクセント壁には、電源スペース不要で100V電源に簡単接続できる『ルーチ・コネクティッドライト 100V スクエア』が採用された。



I ルーチ・パワーフレックス 特注品 30mm ピッチ
型番 LFP30-T** - L30-CL-I
電球色 3000K 346 lm/m



K ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ
型番 LFP20-T** - L27-CL-I
電球色 2700K 563 lm/m

L ルーチ・コネクティッドライト 100V (販売終了品)
型番 LCL-* -100-L27-DF-I
電球色 2700K 976 lm/m



Hotel Luci
ホテル Luci CASE.4

HOTEL BAR GRANTIOS

所在地：東京都品川区
設計：株式会社プラスエフ建築設計室

東京・大森の繁華街の一角に建つビジネスホテルの改装計画。コアなファンをつかむため、クラシカルなバーとビジネスホテルとを一体化した“ホテルバー”という特色ある業態を開発し、“都会の中の隠れ家”的なインティメイトな雰囲気創造が目指された。

2階フロントに併設されたバーは、自然素材と間接照明によって居心地の良さが与えられた落ち着いた空間。同じテイストで設えられたフロントエリアとあわせて上質な客室の存在を滲み出させることで、バーの来客を次回の宿泊へ、宿泊客には客室の延長としてこのバーへの来訪を促すなど、相互の顧客のクロスオーバーが意図されている。

客室は、18㎡～38㎡までの5タイプ9バリエーション全17室。各バリエーションごとに異なるタイプの内装が設えられ、さまざまなテイストの宿泊の楽しさを演出することでリピーター心をくすぐるデザイン計画とされている。

光のレイヤーの創造によって街中での存在感を醸し出すファサードの間接照明

商店街の中で存在感を放つファサードを設えるために、ホテルフロントとバーが位置する2階部分の前面に金属製メッシュのレイヤーを新設し、その上下から『ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ』（昼白色 5300K）による間接照明を当てることで、透け感のある華やかな光の壁が作り出された。

通りには、この光のレイヤーを通して内部のあたたかな明かり（電球色 2700K）がやわらかく滲み出し、その色温度の対比の中で、行き交う人々がその奥に広がる空間への興味をかき立てられるような演出性の高い照明計画が施されている。

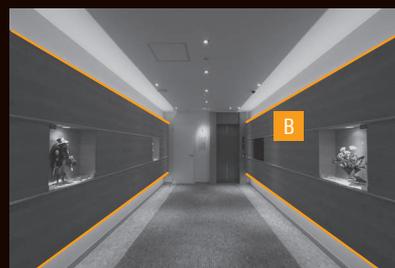


A ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ
(防滴仕様)
型番 LFP20-T** - N-CL-0
昼白色 639 lm/m



方向性を持った光によって人々を誘引するアプローチ空間の間接照明

2階のホテルフロントおよびバーへのアクセス動線は、建物正面左手奥に位置するエレベーター。この長いアプローチ空間を魅力的に見せるとともに、人々の足を自然に奥へと引き込むために、ディスプレイスペースが設けられた壁面の上下に『ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ』を設置。あえて光の帯をくっきりと出すことによって直進性が強調された間接照明が設えられた。



B ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ
 型番 LFP20-T**・L27-CL-I
 電球色 2700K 563 lm/m



| HOTEL BAR GRANTiOS



意匠性と機能性を両立する
ステップを照らし出す間接照明

ホテルフロントとバーは、共通するデザインコンセプトでまとめられた一体空間。ゆるやかに分断された中でそれぞれの機能の違いを表現するために、バーエリアはフロントエリアよりも2ステップ床面を上げた空間構成とされた。

このステップには、『ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ』による間接照明が仕込まれ、落ち着いた照明計画の中でのアクセントとなると同時に、段差への注意を喚起する安全性にも寄与している。



C ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ
型番 LFP20-T** - L27-CL-I
電球色 2700K 563 lm/m



グレード感を演出する
客室階共用廊下の間接照明

客室階共用廊下の壁面上部には、『ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ』が懐に仕込まれた間接照明が施され、グレード感あふれる落ち着いた光環境が具現化されている。



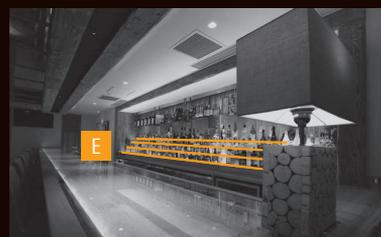
D ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ
型番 LFP20-T** - L27-CL-I
電球色 2700K 563 lm/m



酒瓶ボトルを 魅力的なオブジェへと転化させる カウンターバックの演出照明

いくつもの酒瓶が建ち並ぶバーエリアのカウンターバックには、演出性を意識して5段階の段差がつけられ、各段の上面にはアクリルカバーが施された『ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ』によるライン状の面発光照明が設えられた。

下面からの光を受けて輝く、さまざまなボトル形状や酒色、ラベルを持つ酒瓶を浮かび上がらせることで、ボトル自体をオブジェとする華やかなディスプレイスペースが姿を現している。



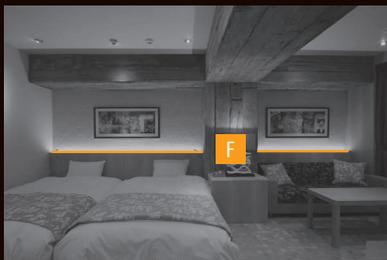
E ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ
型番 LFP20-T**・L27-CL-1
電球色 2700K 563 lm/m



古材むき出しの素朴空間と連動する ヘッドボード上部の間接照明

このホテルの客室には、スタンダードルームからスイートルームまですべての客室に間接照明を導入。自然素材を基調とするという共通項はありながらも、天然木や古材、タイルやフローリング、畳など、さまざまなバリエーションを持ったインテリアデザインに即した照明計画がそれぞれ個別に施されている。

写真は、テラス付きのツインルーム。古材の柱と梁がむき出しの素朴な空間を、ヘッドボード上部に仕込まれた『ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ』による間接照明が、なめらかなグラデーション光で照らし上げる。



F ルーチ・パワーフレックス 特注品 30mm ピッチ
型番 LFP30-T** -L27-CL-I
電球色 2700K 361 lm/m

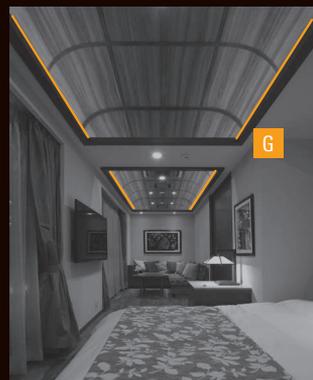




大空間折り上げ天井を照らし出す スイートルームの間接照明

テラス付きのスイートルームでは、リビングルーム、ベッドルームそれぞれに、400mmの高さを持つ大空間の折り上げ天井が設えられ、クリアミラー貼りのその空間を間接照明が照らし上げる。

クリアミラーへの独特の映り込みの存在が、全体のバランスの中で強くなりすぎないように、この間接照明の光源には他客室よりパワーを落とした『ルーチ・パワーフレックス 特注品 30mm ピッチ』が採用されている。



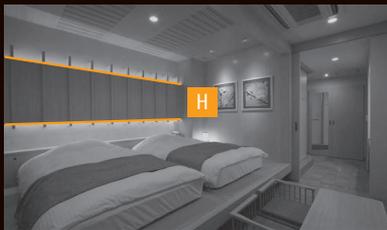
6 ルーチ・パワーフレックス 特注品 30mm ピッチ
型番 LFP30-T** - L27-CL-I
電球色 2700K 361 lm/m

HOTEL BAR GRANTIOS



和装テイストの空間全体をやさしく
包み込むツインルームの壁面演出照明

畳敷きのベッドが採用された和装テイストのこのツインルームには、壁面に木製のオブジェを設置。このオブジェの上面と下面には『パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ』による間接照明が設えられ、そこから漏れ出る柔らかな光が客室内全体をやさしく包み込む。



H ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ
型番 LFP30-T**・L27-CL-I
電球色 2700K 361 lm/m



好みの光環境でステイを楽しめる
オリジナル調光機によるシーン演出

このホテルのすべての客室には、間接照明、ダウンライト、ブラケットなどを連動した照明シーン設定を導入。それをオリジナル開発のコントロールパネルで操作することによって、宿泊客が好みの光環境のもとでステイを楽しむことができる。

設定されたモードは、すべての照明がオンの状態のウエルカムモード、雰囲気を楽しみたいときのリラックスモード、落ち着いた睡眠を約束するナイトモードなど、5種類。コントロールパネルには調光スイッチも設けられ、さらなる微調整を施すことが可能となっている。



HOTEL BAR GRANTIOS

設計

「ホテルバー」というネーミングにしたのは、「ここでしか体験できない新しいホテルスタイルの提案」という、このホテルのコンセプトを広く印象づけたかったからです。

オリンピックを控えて、あるいは急増するインバウンドに対応するため、いまは東京に限らず日本中でホテル開業ラッシュが起こっています。しかし、長期的な目で見たらこうしたブーム的な状況が永久に続くとは限らない。そうした中で、状況に流されず、長く営業を続けていくためには、ホテルに特色を持たせ、その特色をユーザーに愛してもらうことが不可欠です。そこで、ここでは宿泊特化型のホテルと本格的なバーを組み合わせ、都会の中で真に落ち着ける大人の空間という新しいホテルスタイルを提案することにしたのです。

街中を歩いて行くと、金属メッシュの印象的なファサードから暖かい光が漏れ出ているのが見える。その光に誘われて2階にあがってみると、そこはホテルのフロントとクラシックなバーが一体となったシックで落ち着いた空間。壁際には暖炉の火が燃えている。そして、そこで寛いでいるのは、この空間をプライベートバーとして使う宿泊客と、このバーを目的地にやってくる地元の人たち。ある人はひとり寡黙に、またある人はにこやかに

談笑しながら、ゆったりとした時間の流れに任せて都会の夜は更けていく。こんなシーンを頭に描きながら、コンセプト立案とデザイン設計を進めていきました。

客室のインテリアもこのコンセプトを引き継いでいます。スタンダードルーム、スーペリアルームに関わらず、全17室の内装はすべて異なります。ここでのテイストを気に入ってもらえたリピート客を前提に、「次は他の部屋に泊まってみたい」「今日はあの部屋で過ごしたい気分だ」など、趣味嗜好や心身の状態によって違った表情を楽しんでもらうためです。

同じ理由から、このホテルではすべての客室に間接照明を入れ、それをダウンライトやブラケットなどと連動させた調光を可能としています。ウェルカムモード、リラクシングモード、ナイトタイムモードなど、5つのパターンをあらかじめ設定し、オリジナル開発の調光機を操作するだけで、宿泊者が好みの照明モードを気分によって変えられるようにして、自分で雰囲気をつくる感動を取り込んだ空間づくりを提案しています。

Luciの商品を客室の間接照明に採用したのは、この調光機との相性が非常に良かったから。サイズや器具の種類などバリエーションが豊富で、調光機や他の器具とマッチングの良い選択肢を見つけることができる。サイズの調整や光の伸び方、

色温度など、空間デザインにマッチした器具を自在にチョイスできることもとても大きかったです。

楽しめる空間をつくるうと考えたときに、光はとてコストパフォーマンスの高い演出手段。光の入り方、当て方、色温度、調光の強弱によって、空間の表情は一変します。それにテクスチャがつくと、同じ空間でもぜんぜん違う顔になる。間接照明はコストがかかると言われるますが、内装素材とのコストバランスを計り導入する価値は十分にあります。何を見せたいかどこを見せたいかの整理さえついでにすれば、あとは全体のバランスです。今回のホテル事例のように素材感のある建材と合わせればなおさら空間の雰囲気は良くなり、商業ベースで考える客単価を上げることにも繋がります。

株式会社プラスエフ建築設計室
設計デザイナー 佐藤 慎吾





Hotel Luci
ホテルーチ CASE.5

ホテル ユニバーサル ポート

所在地：大阪府

設計：株式会社日建スペースデザイン

写真：DAISUKE SHIMA

USJに隣接する14階建て・600室の規模を誇るオフィシャルホテルの改装プロジェクト。“リゾート&エンターテインメントホテル”としての機能をより高め、宿泊客の非日常体験をさらに後押しするために、“ホテルという船からのさまざまな世界への旅立ち”を基本コンセプトにデザイン計画を策定。2012年からフロアごとに順次改装が進められ、2016年春に最上階フロアが竣工し、その全貌が姿を現した。

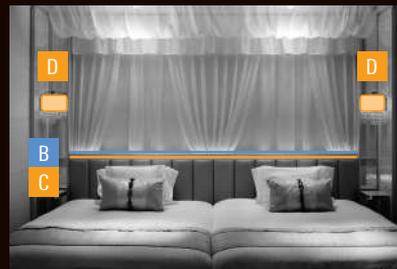
このホテルのフラッグシップとなる最上階フロアのデザインテーマは“深海”。エレベーターホールや共用廊下での映像投影や音響効果、ブルーを基調とした色合いにより海中の雰囲気演出するとともに、客室内にもさまざまな演出を実施。とくに、「プレミアムパレス」と名付けられた2部屋のコーナーツインルームには、“深海の宮殿”をイメージした内装デザインが施され、演出性と快適性を兼ね備えた照明計画によって、極上の非日常体験が具現化されている。

鮮やかな印象を創出する ミニバーのライン照明

客室内のミニバーには、見せるライン照明『ルーチ・シルクス® K』を採用。幅わずか12mmのスペースさえあれば、どこにでも簡単にライン照明を設えられ、しかもグレアを感じさせないこの器具によって、ルーム内のアクセントとなる印象的な光空間が創出されている。



A ルーチ・シルクス® K
型番 LSXK- * - WW- DF- I
温白色 594 lm/m



B ルーチ・パワーフレックス リラクシングブルー
型番 LFP20-1000-B-V-I
機能付照明

C ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ
型番 LFP20-T** -L27-CL-I
電球色 2700K 563 lm/m

D ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ
型番 LFP20-T** -L27-CL-I
電球色 2700K 563 lm/m

演出性と快適性を両立するベッドヘッドボードの青色照明

「プレミアムパレス」のベッドルームには、ヘッドボード上の間接照明にこの階のテーマカラーであるブルーと連動する青色のLEDテープライト『ルーチ・パワーフレックス リラクシングブルー』を採用。

Luci が一般財団法人 電気安全環境研究所等の検査協力を得てオリジナル開発したこの商品は、快適な眠りを“青い光によって”サポートする機能照明。鎮静効果・リラックス効果が実証され、病院の処置室などをはじめ医療施設を中心に普及が期待される『ルーチ・パワーフレックス リラクシングブルー』を、ここでは宿泊施設として国内で初めて導入することで、テーマカラーを引き継ぐ演出性と快適な睡眠環境を創出する機能性とを両立する独自の照明計画が施された。

こうして採用されたブルーライトの演出性と機能性を、ベースライトやタスクライトとの連動性の中で効果的に発揮させるために、ヘッドボード裏の狭小スペースに『ルーチ・パワーフレックス リラクシングブルー』と電球色の『ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ』の2つのテープ式ライトを並行して設置。

回路をそれぞれ分けることで、ブルーライト、電球色ライトのオン・オフ、および調光を独立して操作可能な設計としている。

5つのシーン照明が直感的に操作可能なコントロールパネル

こうした複雑な回路設計を駆使した照明計画を宿泊者が簡単に楽しめるよう、この部屋では壁面に、“シーショア”、“サンセットビーチ”、“ディープオーシャン”など、5つの照明モードがプリセットされたコントロールパネルを設置。宿泊者の興味をそそるコンセプトualなモード名称と誰もが直感的に操作できる簡易性によって、その時々気分や状況にあわせてさまざまな光環境を堪能できるよう配慮されている。

また、これとは別に、ベッドサイドに、ダウンライト、間接照明、ルームライトなどのオン・オフ、および調光を個別に操作できるスイッチパネルも用意。もう少し明るくもう少し暗くなど各モードの微調整はもちろん、ブルーライトだけをオンにして部屋全体を青く染めあげるなど、さらなる照明パリエーションの創出が可能となっている。

LED 素子ならではの長を活かした新タイプのブラケット

“深海の宮殿”をテーマとしたこの「プレミアムパレス」にふさわしく、ブラケットもクラゲやイカなどの深海生物を思わせるかわいらしい有機的なデザインが施された。その光源として採用されたのは約20cmの短い『ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mm ピッチ』。ガラスシェードを通してきらめくLED素子とそこからの光を受けてゆらめく下部のクリスタル。LEDならではの長をデザインに取り込んだ新しいタイプのブラケットがデザインされている。

| ホテル ユニバーサル ポート

設計

USJのオフィシャルホテルであるこのホテルの改装にあたって、まず何よりも求められたのは、エンターテインメント性の追求でした。そこで、キーコンセプトとして、ホテル全体を船に見立て、そこからポルトガルをはじめ、世界各地のさまざまな都市へと旅立っていくイメージをつくりました。そうした中で、最上階の「Port Deep Ocean Floor」では“深海”をテーマとし、エレベーターを一步出た途端に深いブルーの色味に包まれる、まるで海の底にいるかのような非日常の極地の世界観を表現しています。

また、このホテルの基本ポリシーとして、最高級のマットレスや好みで選べる枕、高品質のアメニティを揃えるなど、宿泊客の“寛ぎ”や“安らぎ”といった側面にも心を配っています。そうした考え方を受けて、客室内も靴を脱ぐことを基本に設計し、清潔感と安心感の中で快適なホテル生活を過ごしていただくことを考えました。

こうしたエンターテインメント性と快適性の両立の中で、「Port Deep Ocean Floor」においても最上級のコーナーツイン「プレミアムパレス」の内装設計中に会ったのが、「ルーチ・パワーフレックス リラクシングブルー」です。

「プレミアムパレス」の設計テーマは、“深海

の宮殿”です。改装前はバルコニーだった場所をインナー化してリビングとし、その頭上に高さ4200mmの折り上げ天井をつくりました。そこには“おさかなシャンデリア”と名付けた120匹の魚がゆらめくモビールを設え、その魚をダウンライトやアッパーライト、間接照明によって照らすことで、壁面や床面にその影が揺らめく“深海”を現出させることにしたのです。そのときにアクセントカラーとして、エレベーターホールや共用廊下と雰囲気をつなげるという意味で、“青い光”がどうしても欲しかった。しかし、そのためだけにRGBフルカラーのLEDを仕込むのはあまりにも贅沢でもったいない。

さてどうしようかと悩んでいたときに、「ルーチ・パワーフレックス リラクシングブルー」のサンプルを持って、Luciの営業担当者が事務所を訪ねてきたわけです。しかも、その“青い光”は、快適な睡眠をサポートするリラクシング効果が、もっとも大きな売りだと言う。まさに、このホテルのコンセプトであるエンターテインメント性と快適性を両立する一石二鳥の商品だということで、すぐさま資料を整えてもらい、それをベッドのヘッドボードに埋め込み、複数の照明シーンの設定によりデザインテーマを効果的に浮かび上がらせる照明プランを定例会議で提案することにしたのです。施主にも気に入っていただき、無事

採用となりました。

今回は、どちらかというエンターテインメント性の表現を探し求めていた中で「ルーチ・パワーフレックス リラクシングブルー」の採用となりましたが、ホテルという業態の多様化・細分化を鑑みるときに、“癒し”という側面に重点を置いた採用も十分に考えられると思います。シティホテルにしるリゾートホテルにしるビジネスホテルにしる、さまざまな競合がひしめく中で生き残っていくためには、宿泊客の側に立った特色あるサービスを追求する必要があるからです。

もちろんそのためには、デザインとのマッチングも考えないといけません。現状では点光源のテープ式ライトしかありませんが、これを発展させて面発光の器具や、常夜灯や読書灯的な使い方ができる器具などが開発できれば、さらに使い勝手が増し、商品認知や採用の幅も広がってくるでしょう。その意味で「ルーチ・パワーフレックス リラクシングブルー」の登場は、私たち設計者にとっても、演出面、機能面ともにデザインの可能性を大きく広げてくれることにつながってくるのだと思っています。

株式会社日建スペースデザイン
チーフデザイナー 水原 宏
デザイナー 内堀 佑紀

ホテルの実施空間で間接照明を体感できます



ヘッドボードは付け替え可能です



様々なアプリケーションを検証できる自動昇降システム

各種検証用素材もご用意がございます



天井折り上げ・折り下げ照明



ロビーカウンター下
バーカウンター下照明



通路・玄関の足元照明
ベッド足元照明

東京赤坂にあるショールーム“idea Luci”では、間接照明を使った実際のホテル空間が体感できます。ヘッドボード照明も様々なパターンでの検証が可能です。また、検証スペースもごございますので、灯具の選定や、様々なアプリケーションでの検証が可能です。ぜひご来場ください。



営業時間：営業時間 平日 9:00 ~ 18:00
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-13-13 赤坂ビル 3F
■ 東京メトロ 半蔵門線・銀座線、都営 大江戸線 青山一丁目駅より徒歩 11 分
■ 東京メトロ 銀座線・丸の内線 赤坂見附駅より徒歩 10 分
■ 東京メトロ 千代田線 赤坂駅より徒歩 7 分
※ 駐車場はございませんので、お車で越しの場合は、近隣のパーキングをご使用ください。

ショールーム idea Luci は完全ご予約制となっております。

- ご予約フォーム：Luci HP ショールームご予約フォーム <http://www2.luci.co.jp/1/209362/2017-07-12/61zyb>
- メール：info@luci.co.jp へご芳名・ご連絡先・希望日程(第3希望まで)・ご同行人数をご記入の上、送信ください。
- お電話：03-6327-7409 お電話でのご予約も承っております。お急ぎの場合はお電話でご連絡ください。

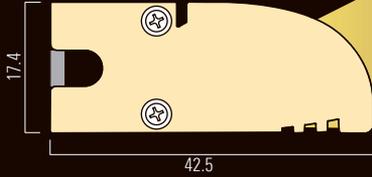
ご予約フォーム



筐体付シリーズ



アクリルカバー一体型で、反射率の高い面を照らしても、LEDの点光源が映らずグレアを感じにくいのが特徴です。
また、アクリルの造作が不要になるため、コストや施工時間の削減にも有効です。
連結しても光が途切れず、継ぎ目のないライン照明が可能です。
ミラー横に設置して化粧台の照明としてもおすすめです。



LCEF

ルーチ・クレイド® F

DC 24V	単色調光	DOT LESS	屋内
1195 lm/m	Ra 93	20.6 W/m	
色温度バリエーション:			
W	WW	L30	L27 L24

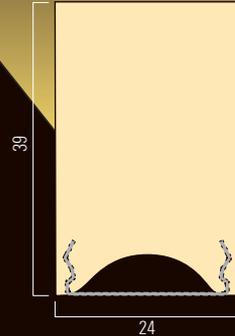
長さバリエーション: 6種類
0150, 0300, 0510, 0880, 1170, 1460

LCEL

ルーチ・クレイド® lens

DC 24V	単色調光	DOT LESS	屋内
1178 lm/m	Ra 93	20.6 W/m	
色温度バリエーション:			
W	WW	L30	L27 L24

長さバリエーション: 6種類
0150, 0300, 0510, 0880, 1170, 1460

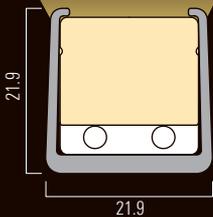


LTH

ルーチ・トフ®

DC 24V	調色調光	DOT LESS	屋内
1096 lm/m	Ra 94	31.2 W/m	(最大)
(NL27 N:0% L27:100%)			
色温度バリエーション:			
NL27			

長さバリエーション: 3種類
0103, 0503, 1003

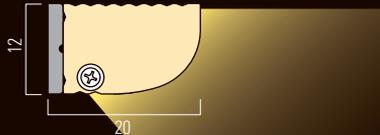


LSXAC

ルーチ・シルクス® 100V

AC 100V	調光非対応	電源不要	DOT LESS	屋内	PSE対象
794 lm/m	Ra 88	17.4 W/m			
色温度バリエーション:					
W	WW	L30	L27	L24	

長さバリエーション: 10種類
0099, 0291, 0483, 0579, 0771, 0867, 0963, 1059, 1251, 1443

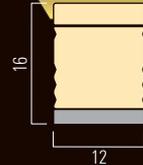


LSXWK RENEWAL

ルーチ・シルクス® ワイド K

DC 24V	単色調光	DOT LESS	屋内
719 lm/m	Ra 93	13.3 W/m	
色温度バリエーション:			
N	W	WW	L30 L27 L24 L21

長さバリエーション: 10種類
0074, 0259, 0388, 0509, 0573, 0702, 0823, 1008, 1137, 1451

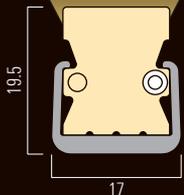


LSXK RENEWAL

ルーチ・シルクス® K

DC 24V	単色調光	DOT LESS	屋内
549 lm/m	Ra 93	13.3 W/m	
色温度バリエーション:			
N	W	WW	L30 L27 L24 L21

長さバリエーション: 10種類
0074, 0259, 0388, 0509, 0573, 0702, 0823, 1008, 1137, 1451

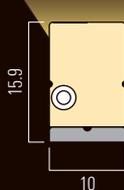


LFPME-T NEW

ルーチ・パワーフレックス イルメ

DC 24V	単色調光	特注加工対応	屋内
288 lm/m	Ra 88	10.5 W/m	
色温度バリエーション:			
N	W	WW	L30 L27 L24

特注加工可能:
長さ(49mm ~ 1489mmまで40mmごと)、
リード線(片側/両側)、バラ線仕様/コネクタ仕様

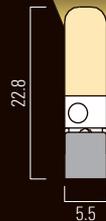


LFTMX-T NEW

ルーチ・フラットフレックス イルメ

DC 24V	単色調光	特注加工対応	屋内
139 lm/m	Ra 87	3.9 W/m	
色温度バリエーション:			
N	W	WW	L30 L27 L24

特注加工可能:
長さ(72mm ~ 1447mmまで62.5mmごと)、
リード線(片側/両側)、バラ線仕様/コネクタ仕様

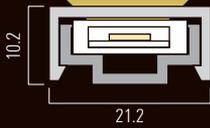


LNL

ルーチ・ナノライン

DC 24V	単色調光	DOT LESS	屋内
59 lm/m	Ra 87	7.2 W/m	
色温度バリエーション:			
N	W	WW	L30 L27 L24

長さバリエーション: 10種類
0109, 0206, 0303, 0400, 0498, 0595, 0692, 0789, 0886, 0984



LFPEX

ルーチ・パワーフレックス EX

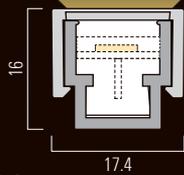


1016 lm/m Ra 92 12.1 W/m

色温度バリエーション:



長さ: 1011mm



LFPA

ルーチ・パワーフレックス アルファ

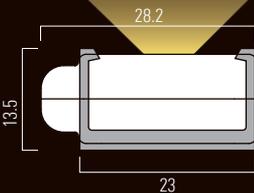


563 lm/m Ra 90 10.4 W/m

色温度バリエーション:



長さ: 970mm



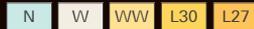
LFPCF

ルーチ・パワーフレックス 100V CF



461 lm/m Ra 85 12 W/m

色温度バリエーション:



長さバリエーション: 7種類

0232, 0434, 0636, 0838, 1040, 1242, 1444



LFPTH

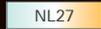
ルーチ・パワーフレックス トフ®



326 lm/m Ra 86 11 W/m

(NL27 N:0% L27:100%) (最大)

色温度バリエーション:



長さ: 1011mm

フレックスシリーズ



灯具が曲がって切れる*ため、曲線部の間接照明に最適です。サイズがコンパクトで薄型なので、スペースが確保できない場所での狭小間接照明も可能にします。曲がる方向が二種類あるため、設置したい箇所に合わせてお選びいただけます。防滴仕様への加工も可能です。(一部商品のみ)
*パワーフレックス 100V CF は灯具を曲げたり切断できません。



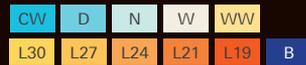
LFP20-T

ルーチ・パワーフレックス 特注品 20mmピッチ



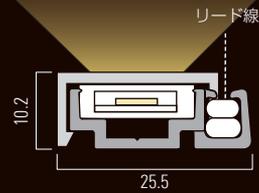
563 lm/m Ra 90 10.5 W/m

色温度バリエーション:



特注加工可能:

長さ(51mm ~ 5011mmまで40mmごと)、リード線(片側/両側)、チューブ仕様(透明/乳半)、耐候仕様(屋内/防滴)



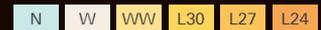
LFPQU20

ルーチ・パワーフレックス クイック 20mmピッチ

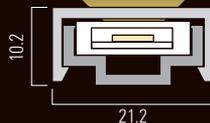


563 lm/m Ra 90 10.5 W/m

色温度バリエーション:



長さ: 1000mm



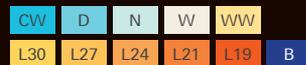
LFP30-T

ルーチ・パワーフレックス 特注品 30mmピッチ



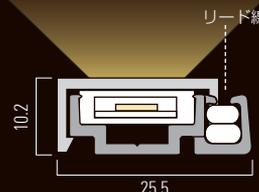
361 lm/m Ra 90 6.0 W/m

色温度バリエーション:



特注加工可能:

長さ(78mm ~ 5006mmまで66.6mmごと)、リード線(片側/両側)、チューブ仕様(透明/乳半)、耐候仕様(屋内/防滴)



LFPQU30

ルーチ・パワーフレックス クイック 30mmピッチ

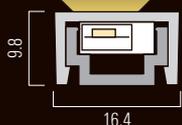


361 lm/m Ra 90 6.0 W/m

色温度バリエーション:



長さ: 1000mm



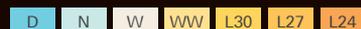
LFTF-T

ルーチ・フラットフレックス F 特注品



282 lm/m Ra 87 3.9 W/m

色温度バリエーション:



特注加工可能:

長さ(73mm ~ 5011mmまで62.5mmごと)、リード線(片側/両側)、チューブ仕様(透明/乳半)、耐候仕様(屋内/防滴)



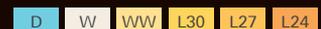
LFXF-T

ルーチ・フレックスアルファ F 特注品



252 lm/m Ra 71 3.9 W/m

色温度バリエーション:



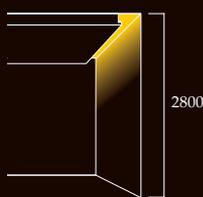
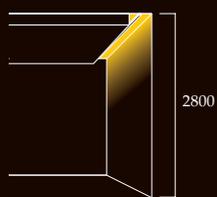
特注加工可能:

長さ(73mm ~ 5011mmまで62.5mmごと)、リード線(片側/両側)、チューブ仕様(透明/乳半)、耐候仕様(屋内/防滴)

推奨設置寸法

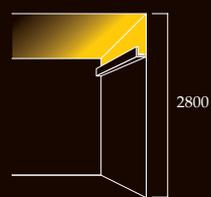
コーニス照明

天井面と壁面の隙間に器具を設置し、壁面を照射する手法。
空間全体を明るく、広く感じさせる効果があります。

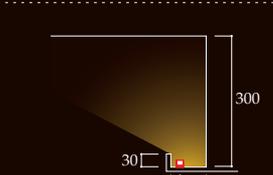
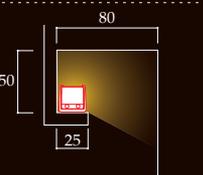
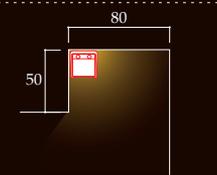


コーブ照明

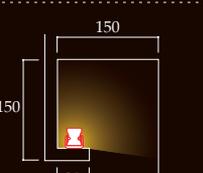
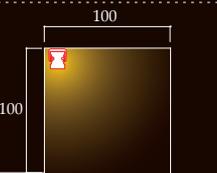
壁面に仕込んだ器具で天井を照射する手法。
やわらかい印象を与えるとともに、
天井を高く見せる効果もあります。



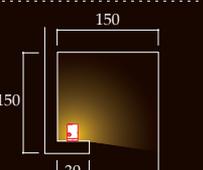
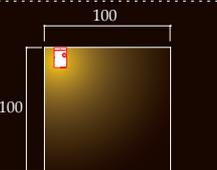
ルーチ・シルクス® 100V



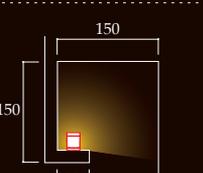
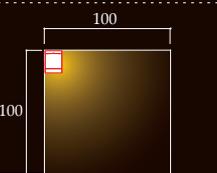
ルーチ・パワーフレックス イルメ



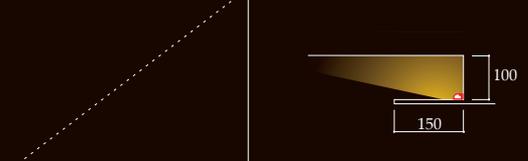
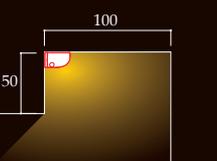
ルーチ・フラットフレックス ミニクス



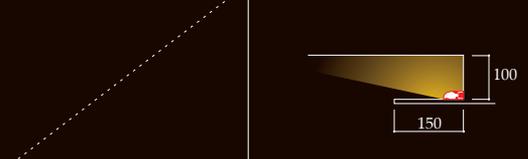
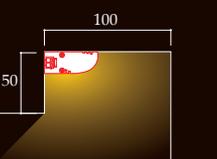
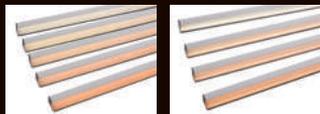
ルーチ・シルクス® K



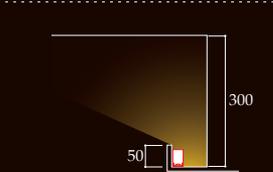
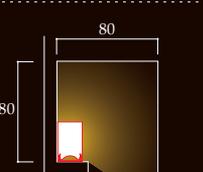
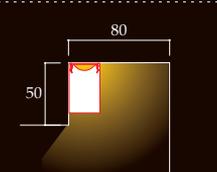
ルーチ・シルクス® ワイド K



ルーチ・クレイド® F / lens

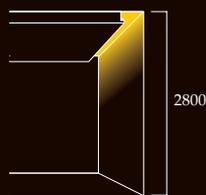
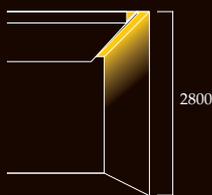


ルーチ・トフ®



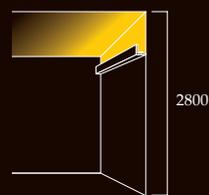
コーニス照明

天井面と壁面の隙間に器具を設置し、壁面を照射する手法。
空間全体を明るく、広く感じさせる効果があります。

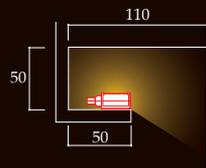
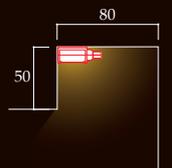


コーブ照明

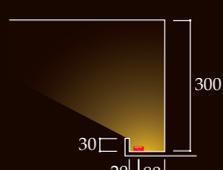
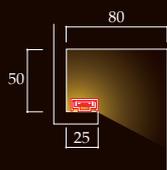
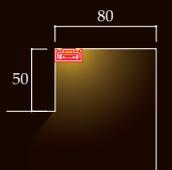
壁面に仕込んだ器具で天井を照射する手法。
やわらかい印象を与えるとともに、
天井を高く見せる効果もあります。



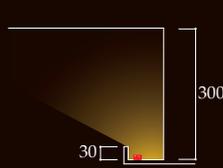
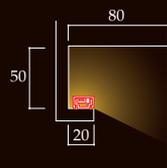
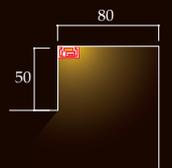
ルーチ・パワーフレックス 100V CF



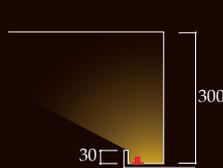
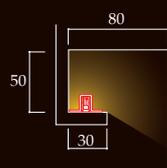
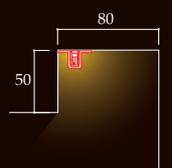
ルーチ・パワーフレックス 特注品 ルーチ・パワーフレックス クイック



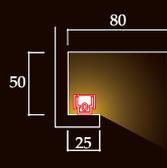
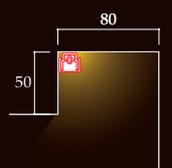
ルーチ・フラットフレックス F 特注品



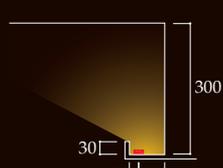
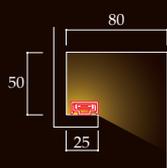
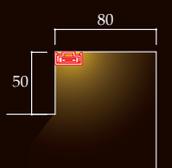
ルーチ・フレックスアルファ F 特注品



ルーチ・パワーフレックス アルファ



ルーチ・パワーフレックス EX



株式会社 Luci

東京本社
大阪支社

〒107-0052 東京都港区赤坂4-13-13 赤坂ビル3F
〒550-0015 大阪府西区南堀江1-1-14 四ツ橋中野ビル3F

TEL: 03-6327-7409
TEL: 06-6110-7520

FAX: 03-6327-7410
FAX: 06-6110-7519

グループ会社

Luci Pte. Ltd.

シンガポール本社
香港事務所

52A Tanjong Pagar Road, Singapore 088473
Room 1801, 18/F, Kwai Hung Holdings Centre,
89 King's Road, North Point, Hong Kong

TEL: +65-6291-2410
TEL: +852-2219-8462

露琪(上海)電子科技有限公司

上海本社
北京事務所

上海市長寧区宣化路300号華寧國際廣場南塔1804室
北京市朝陽區朝陽北路青年公社102号楼1030室

TEL: +86-21-5238-9115
TEL: +86-10-6556-9541
FAX: +86-21-5238-8727